

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	紋別市
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（3年計画のうち1年目）

実施主体	市町村名：紋別市 民間団体名：各合宿団体支援団体、交流拡大推進研究会、紋別市青少年健全育成推進委員協議会ほか		計	1市町村 20団体
プロジェクト名	交流拡大プロジェクト		格差の分野：社会構造の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	◆地域重点プロジェクト名	◆主な取組：地域資源を活かした新たな観光の魅力づくり	
		地域資源を活かした新たな観光の魅力づくりとプロモーション活動の推進	○新たな観光素材を活用した観光ルートづくり	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	◆ 地域の課題 大学・企業の撤退や少子高齢化を要因とした人口減少が進み、地元経済が低迷している現況にあり、まち全体を元気づけるためには、人口減少に歯止めをかけ、地元経済を活性化させることが課題。 ◆ プロジェクトの目標 地域の持つ自然豊かな環境を活かし、移住者・スポーツ合宿の誘致等を行い、定住促進及び交流人口の拡大を図り、地元経済の活性化、地域力の再生に繋げることを目標としている。			
取組の成果	住民等の評価 お試し暮らし体験者、スポーツ合宿団体等の満足度も非常に高く、地元住民との交流も図られていることから、事業が広く住民にも浸透している。			
	計画に対する達成度 お試し暮らし体験者、スポーツ合宿団体受入数は飛躍的に伸びており、PR・誘致活動の成果が高く数字に表れている。			
	具体的な効果	交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・お試し暮らし体験者 65名（滞在延日数 1,603日） ・スポーツ合宿 16団体 435名（滞在延日数 103日） これらの交流人口の増加により、地元経済（宿泊施設、商業、飲食業など）への波及効果は大きく、地域の活性化に繋がっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の年間受入者数 目標 300人（H30） H21実績 435名 達成率 145% ・移住、二地域居住世帯 目標 11世帯（H30） H21までの実績 1世帯 達成率 9% 			

プロジェクト推進上の課題・問題点	<p>課題点等</p> <ul style="list-style-type: none">・お試し暮らしについては件数、日数ともに着実に伸びているものの実際の定住には繋がっていない。今後、いかに移住、二地域居住に繋げていくか検討が必要である。・疲弊する経済情勢の中にあって、国外（主にアジア諸国の富裕層）からの観光客は増えている。今後、これら外国人観光客のニーズにあった観光戦略を構築し、国際的な人的交流も深める必要がある。 <p>課題を踏まえた今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none">・交流プロジェクトについては、地元住民団体の協力はあるものの、現在はどちらかというと行政主導の色合いが強い。今後は、行政が関わる部分は継続しながら、組織体制の整備も含め、住民が主体となった事業展開を目指す。・また、プロジェクト構成事業における連携も強めながら、相乗効果による地域の活性化を図る。
------------------	---

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
	補助金等						委託費					
1	交流拡大推進事業	H21 ┆ H23	全体計画	25,316		2,800			19,843		2,673	
			初年度(H21)	8,672		2,800			4,505		1,367	
	市 交流拡大推進研究会 (住)	2年度目(H22)	8,322					7,669		653		
		3年度目(H23)	8,322					7,669		653		
2	スポーツ合宿等誘致 事業	H21 ┆ H23	全体計画	38,499			34,735		3,764			14,100
			初年度(H21)	13,899			12,617		1,282			8,100
	市 オホーツク紋別クラ シックセミナー実行 委員会〔公〕 各合宿団体支援団体 【17団体】(住)	2年度目(H22)	12,300			11,059		1,241			4,000	
		3年度目(H23)	12,300			11,059		1,241			2,000	
3	子ども会管外交歓研 修会	H21 ┆ H23	全体計画	4,180			4,180					2,500
			初年度(H21)	1,390			1,390					1,000
	市 紋別市青少年健全育 成推進委員協議会 (公)	2年度目(H22)	1,395			1,395					1,000	
		3年度目(H23)	1,395			1,395					500	
4	雇用開発及びUター ン促進事業	H21 ┆ H23	全体計画	14,706					14,706			
			初年度(H21)	4,772					4,772			
	市	2年度目(H22)	4,967					4,967				
		3年度目(H23)	4,967					4,967				
5	国際交流事業	H21 ┆ H23	全体計画	11,191			1,500		9,691			2,400
			初年度(H21)	1,269			500		769			900
	市 紋別国際交流委員会 (公)	2年度目(H22)	3,819			500		3,319			1,000	
		3年度目(H23)	6,103			500		5,603			500	

6	オホーツク観光推進事業	H21 S H23	全体計画	91,456			89,890		1,566			
			初年度(H21)	30,160			29,510		650			
	2年度目(H22)		30,648			30,190		458				
	3年度目(H23)		30,648			30,190		458				
7	産業誘致推進事業	H21 S H23	全体計画	211,972			211,972					
			初年度(H21)	112,802			112,802					
	2年度目(H22)		49,585			49,585						
	3年度目(H23)		49,585			49,585						
計	事業数[7] 実施主体数[21]		全体計画	393,320		2,800	338,277		49,570		2,673	19,000
			初年度(H21)	172,964		2,800	156,819		11,978		1,367	10,000
			2年度目(H22)	109,036			90,729		17,654		653	6,000
			3年度目(H23)	111,320			90,729		19,938		653	3,000

- 注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。
2 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。
3 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開	
1	交流拡大推進事業	おためし暮らし体験を通して、地域の魅力を体感してもらうことにより、移住・二地域居住への推進を図る。 スポーツ合宿団体の継続要請・新規団体の誘致活動を行う。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し暮らし受入 受入 65名 (延1,603日) ・移住促進PR事業 ・スポーツ合宿等の誘致活動 	<p>〔効果〕 地域の魅力が受け入れられ、着実にお試し暮らし件数が伸びており、体験者の満足も高い。</p> <p>〔課題〕 完全移住、二地域居住に繋がるためのフォローアップ（移住の際の住居紹介など）を行うことで、本来の目的である移住人口の増加を図る必要がある。</p>	これまでのPR、誘致活動は継続しながら、移住人口の増加に繋がる体制づくりをするとともに、行政主導から、市民主体への移行の流れを構築していく。	
			2年度目 (H22)				
			3年度目 (H23)				
2	スポーツ合宿等誘致事業	スポーツ合宿団体等の合宿活動費の一部を補助することにより、スポーツ及び文化活動の振興を図り、地域の活性化に繋げる。	初年度 (H21)	<p>スポーツ合宿 慶応義塾大学体育会競技部 ヤマタ電機女子陸上部 東海大学陸上競技部 拓殖大学陸上競技部 明治大学陸上競技部 中央大学陸上競技部 青山学院大学陸上競技部 帝京大学駅伝競技部 北海道大学水泳部 全日本ハンドボールチーム IBM少林寺拳法クラブ 拓殖大学女子バスケットボール部 帯広南商業高校女子バスケットボール部 札幌イトマンスイミングスクール 北海道大学男子バスケットボール部 駒澤大学空手道部</p> <p>計 16 団体 435 名 延合宿日数 103 日間</p>	<p>〔効果〕 前年比 9 団体、247 名の増となり、誘致活動の成果が表れた。滞在期間の市内宿泊施設、商店街、飲食業等への波及効果も大きく、また、紋別空港利用率向上にも貢献しており、地域の活性化に欠かせない事業となっている。</p> <p>〔課題〕 団体数、人数の増加による受入体制の維持。 合宿団体における成果、成績に繋がるような利用施設の環境整備が必要である。</p>	既合宿団体の継続実施を維持していくとともに、新規団体の誘致活動を図る。 地元団体、児童生徒との交流活動なども深くし、合宿団体、地元の双方が活性化できる受入体制の整備の充実を図る。	
			2年度目 (H22)				
			3年度目 (H23)				

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
3	子ども会管外交歓研修会	道内都市部の子ども会との交歓研修会の実施など、地元児童と都市部児童の積極的交流を図る。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会等リーダー養成研修会 (H21.8.2~8.4) 研修生 27名、リーダー9名 ・札幌市南区子ども会、紋別子ども会交歓研修会 (H21.9.4~9.6) 紋別子ども会 45名 南区子ども会 37名 	<p>〔効果〕 道内都市部で生活する児童との交流や団体行動を通じ地域の壁を感じない個々の心の育成が図られるとともに、異なる年齢集団での活動の中で、家庭や学校のみでは体験できない部分の学習に繋がる。</p> <p>〔課題〕 研修会による一時的な交流のみではなく、継続的に連絡を取り合うことができるなどのフォローアップが必要。</p>	継続的な事業実施により、各世代による隙間のない交流を図る。
			2年度目 (H22)			
			3年度目 (H23)			
4	雇用開発及びUターン促進事業	雇用開発推進員を配置し、U・Iターン希望者への情報提供や再就職の支援を行うとともに、市内の企業、事業所における人材確保を図る。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用開発・Uターン推進員による相談業務 ・地元産業説明会の実施 ・Uターン企業ガイドブックの作成 	<p>〔効果〕 U・Iターン雇用成立 4名 一般就職相談による就職 5名</p> <p>〔課題〕 低迷する経済・雇用情勢の中、新規卒者のみならず、中高年者の求職者も増加しており、雇用確保が困難となってきた。</p>	通常の相談業務に加え、市ホームページでの情報提供、ハローワークとの連携強化により、幅広い世代の雇用確保に努める。
			2年度目 (H22)			
			3年度目 (H23)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開	
5	国際交流事業	アメリカ合衆国ニューポート市等の3国際姉妹都市との文化及び人的交流を推進する。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・コルサコフ市（ロシア）親善訪問団受入（10名） ・コルサコフ市ヨット訪問団受入（9名） ・中国語、ロシア語講座の実施 ・街灯フラッグ設置 	<p>〔効果〕 定期的な姉妹都市交流により、親密な国際交流が推進される。 中国語講座の実施により、近年増加している市内中国人研修生と市民の活発な交流が図られ、外国人にとって負担のない生活環境づくりに繋がっている。</p> <p>〔課題〕 国際交流委員会メンバーが固定化されており、今後の国際交流に支障が出ないように、次世代の育成を図り、団体活動の活性化が必要である。</p>	各姉妹都市との定期的な交流を継続し、友好な環境づくりを進める。 各種市民外国語講座の内容充実により、底辺からのよりよい外国人との友好な交流を図る。	
			2年度目 (H22)				
			3年度目 (H23)				
6	オホーツク観光推進事業	紋別の持つ自然豊かな観光力を余すことなくPRし、雑誌・テレビ広告や体験観光などの各種イベントに対して支援を行う。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体旅行客向け周遊型バス運行助成 ・北海道じゃらん、ソーラナ掲載 ・雑誌、WEB、新聞広告掲載 ・キャンドルナイト、スノーシューハイキング事業 	<p>〔効果〕 観光客のニーズに対応したツアー商品作成や周遊型バスの運行、地域特性を活かしたイベントの実施により、空港利用客の利便性の向上と観光交流の推進を図ることができた。</p> <p>〔課題〕 道外、国外問わず、観光客においては北海道の魅力はそれなりに浸透しており、道内他地域との差別化が必要となっている。</p>	増加している国外からの観光客（主にアジア諸国）のニーズを的確に把握し、紋別完結のみではなく、道内他空港との連携による周遊型観光、空港利用が可能なツアー商品の形成などを推進し、空港利用客、観光交流人口の増加を図る。	
			2年度目 (H22)				
			3年度目 (H23)				

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開	
7	産業誘致推進事業	産業施設の新設又は増設に助成を行うことで、産業振興と地元における雇用拡大を図る。	初年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・紋別市産業施設誘致等促進条例に基づく施設増設及び雇用に対する助成金 3社 〔施設分〕 110,202千円 〔雇用分〕 2,600千円 (13名) 	<p>〔効果〕 市内製造業者における設備投資及び衛生面の強化に対する意識の向上とともに、地元雇用の拡大に繋がった。</p> <p>〔課題〕 地元既存企業の施設増設に対するものが主となり、道外、道内からの新規企業の誘致に繋がる制度構築が必要。</p>	<p>現在、国の「企業立地促進法」に基づく基本計画を遠紋地区1市6町1村の広域連携により策定中。 地域の特色を活かした産業集積の活性化を強める。</p>	
			2年度目 (H22)				
			3年度目 (H23)				

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。